

# 保安業務資格者数の算定表

事業所の名称：

保安業務区分	保安業務資格者数の算定	必要資格者数
①供給開始時点検・調査	$\frac{\text{消費者戸数( )}}{20000} =$	
②容器交換時等供給設備点検	$\frac{\text{消費者戸数( )}}{100 \times \text{月間実働日数( )}} - \text{調査員数( )} =$ ※ただし、0未満となる場合は、0とする。	調査員数( )
③定期提供設備点検	$\frac{\text{消費者戸数( )}}{30 \times \text{年間実働日数( )}} \times \frac{1}{4} =$ ただし、補助員を伴う場合は次の式による。 $\frac{\text{消費者数( )}}{30 \times \text{年間実務日数( )}} \times \frac{3}{4} \times \frac{1}{4} =$	補助員数( )
④定期消費設備調査	$\frac{\text{消費者戸数( )}}{25 \times \text{年間実働日数( )}} \times \frac{1}{4} =$ ただし、補助員を伴う場合は次の式による。 $\frac{\text{消費者戸数( )}}{25 \times \text{年間実働日数( )}} \times \frac{3}{4} \times \frac{1}{4} =$	補助員数( )
上記③④重複実施の場合 (この場合は、③、④の算定は不要)	$\frac{\text{消費者戸数( )}}{20 \times \text{年間実働日数( )}} \times \frac{1}{4} =$ ただし、補助員を伴う場合は次の式による。 $\frac{\text{消費者戸数( )}}{20 \times \text{年間実働日数( )}} \times \frac{3}{4} \times \frac{1}{4} =$	必要資格者数の合計
⑤周知	$\frac{\text{消費者戸数( )}}{20000} =$ ただし、②、③、④のいずれかと同時の場合は $\frac{\text{消費者戸数( )}}{40000} =$	調査員数( ) 補助員数( )
⑥緊急時対応	$\frac{\text{消費者戸数( )}}{20000} =$	現有保安業務資格者数 (保安業務計画書の数と同数となる。)
⑦緊急時連絡	$\frac{\text{消費者戸数( )}}{20000} =$ ※消費者戸数が20000戸を超える場合は $1 + (\text{消費者戸数} - 20000) \times 1 / 80000 =$	調査員数( ) 補助員数( )

※ 事業所が複数ある場合は、事業所ごとに別葉とすること。

※ ③④重複実施の場合は、③、④の各算定式によらず、「③、④重複実施の場合」の式のみにより算定した数をもって③、④の保安業務に必要な資格者数とすること。